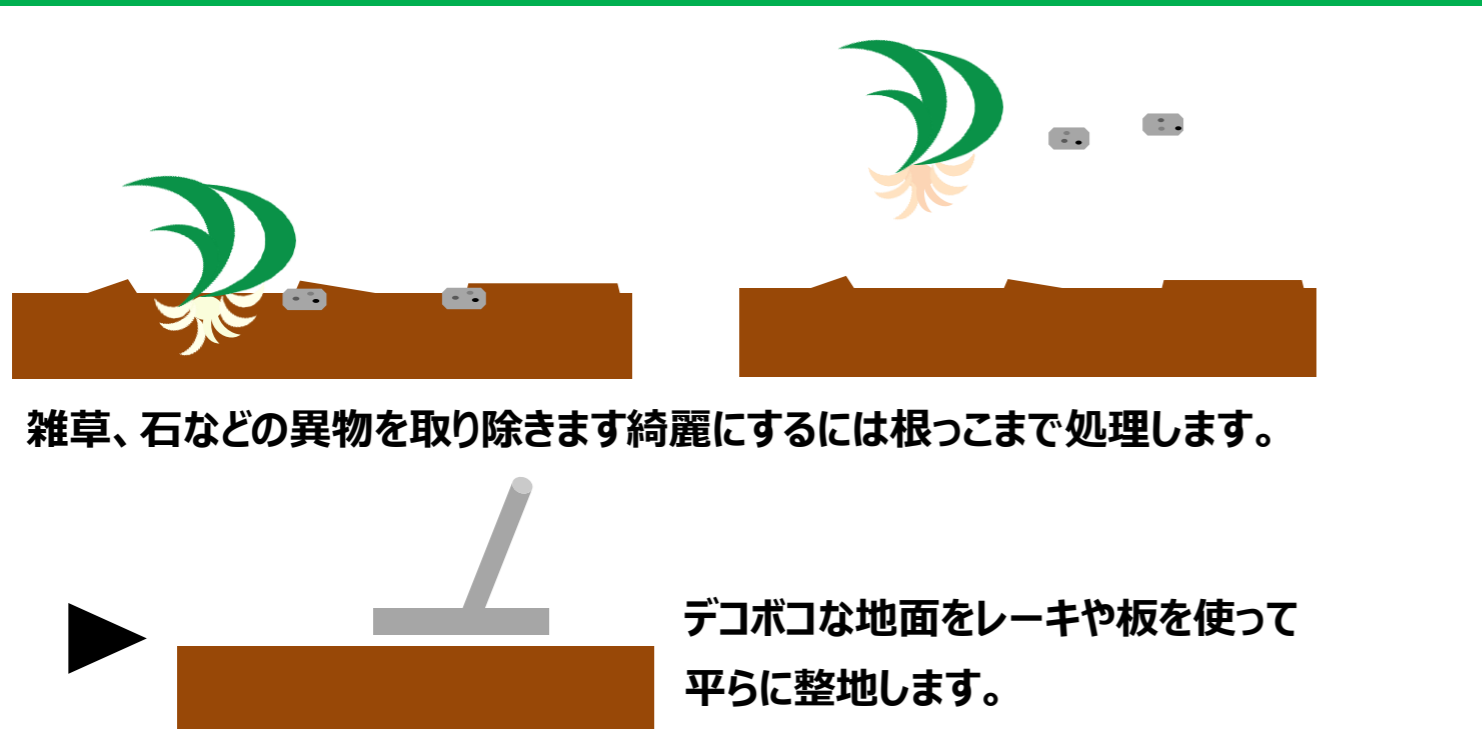


防草シートの施行方法

1. あらかじめ雑草を取り除き整地します

堅いものや異物があると破けてしまう原因になりますので取り除いて下さい。防草シートを綺麗に敷く為には、ここでどれだけ前処理をきちんと行ったかによって大分変わってきます。竹やササが生えるような場所は、周囲も含め最初にしっかり駆除する事をお勧めします。

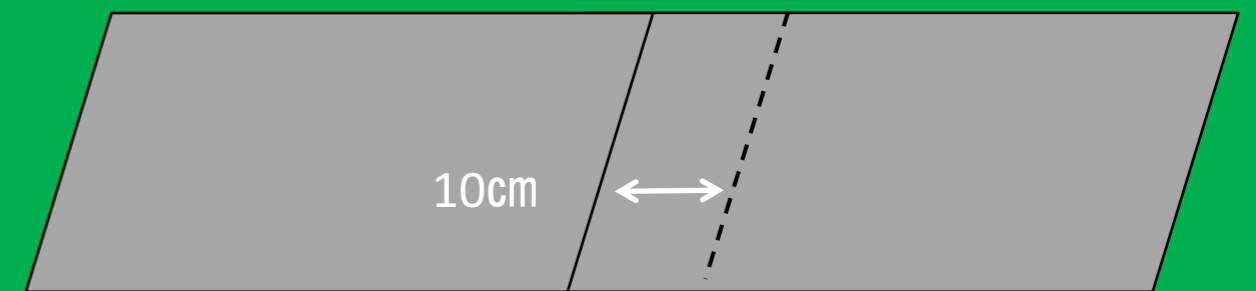


※シートを敷く前に除草剤を撒く場合は、草を刈る前に散布して下さい。
除草剤は、根まで枯らせるタイプが最適です

【注意】 株や根が発達するような雑草の種類によっては、草を刈ってシートを敷いた後にも草が伸びてくる場合がございます。これは、根に残った栄養分により雑草が生きている状態です。防草シートには、遮光性がありますのでしっかりと光合成できない雑草は次第に衰えていきますが、もし気になるようであれば、シートを一度剥がして処理するか、ピンの量を増やすなどの対策があります。

2. シートを広げて敷きます

防草シートの合せ目は、10cm以上設けます。この合せ目が少ないと雑草が生えてきたり、捲れたりする原因につながる場合があります。壁際などの端は、ピッタリ合わせるよりは何センチかでも長めにしておいた方が、壁との間に隙間ができないので良いです。



3. 施工場所に合わせてハサミなどでカットします。

ハサミで簡単に綺麗にカットすることができます。

4. 風でめくれないようにピンで固定します。

防草シートを剥き出しで使用する場合は、防草シートの周囲、合せ目を50cm間隔で打込みます。

※更に雑草防止の為に、必要に応じてピンの上、防草シート合せ目、シート端へ粘着テープを貼る方法もございます。

